



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
 事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
 e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp

会長/池田 修平 幹事/中野 欣哉 クラブ会報委員長/青木 宏
 SAA/小山浩太郎 副 SAA/若麻績信昭

第1316回例会2014年（平成26年）11月7日（金）
 第1317回例会2014年（平成26年）11月16日（日）IM・会員セミナー

ロータリーに輝きを LIGHT UP ROTARY

会長挨拶 池田修平会長

指名委員会開催の件について、お知らせします。11月10日18時より、旧みなみの店で、「信州寺町みなみ 日本料理大観」で、開催します。細則に従い、歴代会長、現会長に指名委員の委嘱をし、オブザーバーとして幹事、会長エレクトの出席をお願いします。

今日は暦では立冬です。冬の始まりになります。旧暦では閏9月15日になりまして、3年ごとに1か月余分にする年になります。したがって、今年の12月31日は旧暦の11月10日です。旧暦の正月は50日後の2月20日になり、この暦で明治4年までずっとやってきたようです。

11月のお祝い事 おめでとうございます

<会員誕生記念>

小山浩太郎さん 相馬榮治郎さん

<夫人誕生会員>

中村節子さん 伊藤園子さん 高井まゆみさん

<結婚記念会員>

伊東義次さん 柄澤重登さん 北川原健さん
 松本克幸さん 中野欣哉さん 大橋東二郎さん
 高井新太郎さん 若麻績信昭さん 山田友雄さん

11/21 本日のプログラム

ゲスト卓話 吉澤政己さん
 シリーズ「松代学 第Ⅱ章」④
 「松代藩及び周辺の建築」

幹事報告 中野欣哉幹事

- ・次週14日例会は北信第1グループのIM・会員セミナーに振替の為ありません。
- ・16日（日）IM・会員セミナー 須坂 RC ホストによりスザカ迎賓館にて13:00から登録受付。次年度は当クラブがホストクラブとなります。ご協力をよろしくお願いします。

出席・ニコBOX報告 清水 満例会運営委員

11/7（会員54名）出席25名前々回修正出席率85.11%

- ・井上明彦さん☆11/3 西 RC ゴルフ同好会がウィーゴで開催。今季ベストスコアで優勝しました。感謝。懇親会は屋形船でジンギスカンと季節はずれのお花見（寒桜・寒椿？）でした。次回も楽しく御参加下さい。
- ・高橋英司さん☆先日、柄山峠まで行って来ました。紅葉がとってもきれいでした。
- ・小池裕孝さん☆井上さん優勝おめでとうございます。屋形船では坂井さん、小山さんの意外な一面を見られて楽しかったです！
- ・清水 満さん☆11/3 のゴルフ同好会大盛況おめでとうございます。色々な花を楽しめたようですね。次回は絶対に参加したいと思います。

・合計 12,500円 ・スヌーピー 4,202円

・累計 298,946円



マルチプル・ポール・ハリス・フェローの3回目になりました

北信第1グループIM・会員セミナー開催

11月16日(日) 於：スザカ迎賓館 出席12名
永田正幸ガバナー補佐・須坂 RC ホスト



山口文男さんお別れ会



2014年11月14日(金)ホテル国際にて
しめやかに執り行われました。
柄澤重登さんが弔辞を読まれ、
クラブを代表し会長・幹事がお齋につきました。
会員一同、ご冥福をお祈りいたします。

例会案内

11月28日 ゲスト卓話 柴田匡平さん

会員卓話 竹村利之さん

「庭園都市と松代藩」



松代は「庭園都市・松代」と言われています。その所以は30年程前に東京大学工学部が松代を調査した時に、町全体が庭園をちりばめているような印象になっていると評価されたことによります。松代のそれぞれの武家屋敷には庭園があり、庭園には泉水と呼ばれる池を持ち、その泉水と泉水をつなぐ泉水路が隣地から隣地へとつながり、それを補うかのように、道路には川があり、道と道の間には農地の灌漑に用いられたとみられるセギが流れている。まさに町全体が庭園です。

その後信州大学工学部も調査して、このような水路網があるのは全国的にも大変めずらしく、武家屋敷地区に泉水路があるのはこの松代町だけと評価されました。

その調査の後、武家屋敷地区を中心とした「表柴町、馬場町、代官町、竹山町」を四町伝統環境保存地区として長野市ではこれに伴う補助金を出して現在まで整備を進めてきております。住宅、門、土塀と庭園を対象として上限200万の補助を行っております。重要文化財の横田家、樋口家、山寺常山家の泉水はよく整備されております。横田家は茅葺屋根がよく合います。象山の麓、神田川に沿った小路を、松代の人々は「象山思索の道」と呼び誇りにしております。

泉水路は、古くは宝年正徳の頃(1704~15年)に描かれたとされる三村自閑斎の「松代の図」にもあります。この絵はかなり詳細に描かれていて、水路が道の真中に流れているのが判り、松などの樹木や門、塀まで描かれています。また、江戸中期寛政4年(1792年)に描かれた「松代絵図」にも水路が道の真中に描かれており、流れは現状とそんなに変わらないことが分かります。220年程前に泉水路はあったことが確認できます。

多くの城下町が明治以降の近代化の波に都市としての様相を一変させた中で、今日までそれらを残し伝えている松代の存在を今後も保全していくことを希望しております。